

《2014 年度夏期》 計 21 名分

【JCHO 東京新宿メディカルセンター】

JCHO 東京新宿メディカルセンターにてリハセミナーに 2 日間参加させていただきました。このセミナーに参加した理由は大学の講義で 2 コマ程リハのお話を聞く機会があり、回復過程が目でもはっきり見えてくるという点に興味を持ち、もっとリハ科について知りたいと考えたからです。この 2 日間で最も強く感じたことは、リハ科は患者の ADL の向上を図り全人的に捉えて治療していくため、医療の根本である QOL を高めるということを実践できる診療科であるということです。そしてその QOL を高めるためには医師や看護師だけでなく、PT・OT・ST・ソーシャルワーカー等多くの人が関わることで成り立っていると強く感じました。

健康寿命を伸ばすということが現代の医療の目標となっている中で、リハ科はその鍵となる診療科であるということをおぼせていただきました。お忙しい中 2 日間指導してくださり本当に有難うございました。

【JA 長野厚生連 佐久総合病院】

実習の前まで私はリハ医学とは主に運動機能を訓練によって、もしくは補助器具によって回復させるもの、と簡単に理解していました。しかし実際には脳卒中、心臓、呼吸器、小児、さらに嚥下、コミュニケーション、高次脳機能に至る非常に広範囲に渡る領域を対象としており、それぞれの専門分野において細やかなケアが行われているということを知ることが出来ました。さらに、リハ医学ではただ機能面での改善を目指すだけでなく、そこで獲得した身体機能をどのように日常生活の中に適応させていくかについて、患者さんに可能な動作や、自宅などの周辺環境、今までの生活習慣も含めた広い範囲から考えているということも知ることが出来ました。

人が人らしく生きていくためには、自分の人生に意味を見出し、そして価値を見出していくことが重要であると考えています。その為には歩くことや食べること、話すことなどの身体的機能が維持されていることが重要になるでしょう。しかし、身体的機能以上に重要な事は、例えば畑に行く、仕事をする、人と談笑をする、皆とごはんを食べるといったような、社会生活へ参加していけるということであると実習の中で改めて感じました。そして社会生活への参加は障害によって阻まれるものではなく、障害を受けていない身体機能や様々な装具を利用することによって実現させていくことが出来るということを知ることが出来ました。

一週間と短い間でしたが、リハ医学について今まで以上に深く理解する事ができたと思います。大変勉強になりました。このような機会を戴きありがとうございました。

【伊豆夏期セミナー】

●初期研修医 2年目 男性：

2泊3日フル参加させて頂きました。率直な感想は、参加して本当に良かったです。私はリハ科を志望していますが、このセミナーに参加して更にその思いは強くなり、モチベーションも上がりました。このセミナーは少人数なので、上の先生方とも気さくにお話しいただける環境が何よりの魅力だと思います。

日中はリハに関する座学だけでなく、伊豆の回復期リハ病院で臨床の現場で具体的にどのようなことしているかを学べ、また車椅子など体験型の実習もでき、充実していました。夜も和やかな飲み会で深夜まで色々なお話ができ、親睦を深めることができます。リハに関わる先生方は、とても人間的で尊敬できる方ばかりです。

これから参加を検討されている方には、フル日程でなくても参加する価値があると思うので、心からおススメします。

●初期研修医 2年目 女性：

私は現在初期研修医 2年目で、既にリハ科に進むことを決めています。各科ローテーション中の疾患の治療を学ぶことも大事ですが、この患者さん家に帰ったらどうなるだろう、ご飯をなんとか食べさせてあげられないだろうか、そんなことが気になってしまう毎日です。リハ科という選択肢は頭の片隅に研修開始前からありましたが、リハにすると決めたのは、そういったことに人一倍関心がある自分に研修をしていて気が付いたからです。

リハに行くとは決めたものの、学ぶ機会は研修中不足しています。何も知りません。そこで、来年以降に繋がればと思い、このセミナーに参加させて頂きました。

セミナーでは、リハとは何かその歴史から教えて頂きました。見学実習も多く盛り込まれていました。その中で、誤嚥に関して歯科との連携の有用性を知ることができたり、初めての経験で戸惑いつつも先生とディスカッションしながらリハ処方を書いてみたことは、特にいい勉強になりました。学んだことを、日々の臨床で気にしてみることが、リハ科医になる前から役立つと感じました。

盛り沢山の3日間でしたが、このセミナーの一番の魅力は、多くのミニレクチャーがあることだと思います。専門分野のことだったり、オリジナルの評価

方法の有用性だったり、ボランティア活動だったり、実に色々な内容をテーマに先生方がお話下さいました。リハの領域は幅広いとは言われ、それが魅力の一つとも思っていますが、その全貌を知らない私にとっては、新しく見聞きするものばかりでとても興味深かったです。自分の知らないリハが沢山あることを知り、これから何に興味を持って、どんな仕事ができるのだろうと思うとわくわくしました。

多くの先生方からたくさんのお話を聞くことができ、とても充実した3日間でした。リハに行く方、迷っている方、興味のある方には是非是非お勧めしたいと思えたセミナーです。本当にありがとうございました。

【京都民医連中央病院】

京都民医連中央病院で神経内科と回復期リハ病棟を中心に参加した。

神経内科回診では、入院患者が回復期リハ病棟に移せるのかどうかを慎重に判断していた。入院期間の延長措置としてではなく、回復期病棟での期限のある入院期間内でどれだけ効果的に回復することができるのか、本人の意志と家族のサポート、そして退院後の生活を視野に入れた議論がされていた。

回復期リハカンファレンス&回診では、患者の現状把握と回復の展望について多角的に議論していた。医師、看護師、セラピストが連携してチーム医療を実践している現場を見学できたことと、家族を含めた面談を行い、日常生活への配慮をしながらリハに対する動機づけを行っていたことが印象的だった。

リハ・神経内科外来では、長谷川式スケール 20点から 15点を境界に患者の生活に支障が出やすくなり、介護者との衝突が起きやすいということを学んだ。介護虐待を防ぐために、介護者にも病気の進行状況を詳細に説明して治療の同意を得ることは非常に重要であると感じた。

【いわてリハビリテーションセンター】

このセミナーに参加したのは、リハに関わる医師がどのような日常診療を行っているのか知りたいと思ったからです。

いわてリハビリテーションセンターはとても空気の澄んだ、落ち着いた環境の中にあって建物の中が明るい造りとなっていました。第一印象でリハに励む建物の雰囲気も大切な要素の一つだと感じました。

さらに病棟の造りの工夫や、食器の工夫、患者さんに合わせた車イスなど自分の知らないものをたくさん見て本当に驚きました。

リハはPT、OT、STさんがやっているものという訓練みたいなイメージしかな

かったのですが良い意味でそのイメージが壊れました。

先生方のスケジュールは患者さんや家族との面談、カンファレンス等でびっしり埋まっており、時間をかけて患者さん一人一人と向き合っているのだなと感じました。

実際の現場を見学させていただくことができ、とても勉強になりました。将来的にはリハに関わっていきたいという思いが一段と強くなりました。

このような貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

【藤田保健衛生大学病院，七栗サナトリウム】

●医学生

・大変貴重な経験をさせていただきありがとうございました。自分が普段学んでいる大学にはない、呼吸リハやリハロボット野見学はとても興味がわきました。また、これらの実用性についてなども丁寧に説明していただき、今後、医者になる上で大変勉強になりました。特に、リハロボットについては今後ますます発展していく分野だと考えます。今後のセミナーではそれらのリハロボットの最終目標や、どこまでの支援が可能になるであろうかといった未来の展望についての話が聞けたらと思いました。

非常に多くのことを学び、まだまだ自分の認識の甘さと勉強不足を痛感しました。今後の勉強の糧としたいと思います。リハ科は普通の科とは違う専門的な知識と患者さん自身をみる力が必要だと感じました。とても充実した2日間となりましたありがとうございました。

・自分の学校の病院ではリハの実習をあまりする機会もなく、リハ科医の先生も少ないため多くのことが新鮮でした。特にリハロボットなどの体験は初めてだったので、興味深かったです。

また機会があれば参加し、今後に活かしたいと思います。

・自分が在籍している大学のリハ科でのポリクリや実習ではほとんど習うことのできない手業や講義、ロボット等の先端技術に触れることができました。このような貴重な機会を設けていただき本当にありがとうございました。

・普段の病院実習で見ることのないリハ科医としての視点、治療の在り方を学ぶことができました。教科的な症状の知識しか持っていなかったもので、実際に体験することができて、より患者さんの観点に近づくことができました。ありがとうございました。

・以前参加された知り合いの方に紹介されて今回参加させていただきました。どの分野でもリハは重要な位置付けだとは思っていながらも、しっかりと知り、学ぶ機会はあまり無かったので、興味深いことばかりで大変充実した三日間を過ごさせていただきました。正直な所、今までリハは療法士がやるものだというイメージがかなり強く、リハ科医がなぜ存在し、どういった事をしているのかほとんど知りませんでした。今回参加させていただいて、まずリハ科というものが自分のなかの選択肢として上げられるようになったことは一番大きかったと思います。また、リハ科以外の選択をしたとしても、リハはどの分野とも切り離す事は難しいですし、特に高齢化が進んでいくこれからの社会で非常に重要な位置付けになることは明らかなので、その重要性を感じられたことも、自分にとって大きな収穫でした。

全体を通して、講義と体験がバランスよくくまれている三日間、飽きるというようなことは全く感じませんでした。もちろん、今回のようなセミナーだけでリハ医学・医療について十分に理解できるわけではないと思いますが、これから考え、学んでいくためのきっかけになったと思います。また、宿泊や交通費などの面倒まで見ていただけたのは、特に学生の私にとっては大変ありがたかったです。これからへの希望としては、心臓リハなども見る機会などいただければ、さらに広い分野についてふれることが出来るかもしれないと感じました。3日間、大変お世話になりました。

・今回、藤田のリハ科の事を知ることができ、実際にこちらでセミナー参加させていただくことで、本当に良い体験を積ませて頂くことができました。在籍大学にもリハ科の講座はありますが、日頃リハの業務内容にふれる事は少なく、ハイライトのようなかたちでリハ科医の領域を大きく見せてくださったおかげで、病院におけるリハの役割や具体的な仕事内容を知られたと思います。ただ、やはり3日間ではリハ科医の日常や患者さん方の回復している過程を見ることまではできず、こればかりは1週間単位の見学や将来的には研修などでしか分からないところなのだろうと感じました。また、もし可能であれば、リハ連携している他科の先生方の意見も伺うことができれば、より「横糸」としてのリハ科の魅力も知ることができて良いのではないかと思います。

このような勉強会に参加させていただくのは、これが初めてでしたが、予想よりはるかに楽しく、また暖かい歓迎を下さり、リハ医学という分野について強烈な印象を与えて頂きました。ぜひまた来年以降のセミナー参加やもしかしたら数年後の研修生活などで、藤田リハの先生方に再会することができればとても嬉しく思います。あっという間の三日間で、名残おしい限りです。ありが

とうございました。

・この3日間でリハ科というものの必要性和面白さが伝わり、リハ科というものが何なのかなんとなく理解できました。患者さんにとってすごく大事なのに大学であまり学ばないのはなぜだろうと思います。今回のセミナーではリハロボット体験など、ここでしか体験できないような貴重な経験をさせて頂き非常に心に残るものでした。また、昼食時など先生方のお話を聞くこともでき、将来のためにとっても価値のあるものだったと思います。食事もすごく美味しかったです。本当にありがとうございました。

・今回の参加は、友人に誘われてという受身的なものでしたが、リハのセミナーはどれも触れたことのないもので、有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。特に興味深く見学・体験できたのは、訓練の様子と装具についてのお話でした。病院内にここまで大きなリハエリアがあり、さらにそこが多くの医療者と患者によって活気付いているのを見るのは初めてのことであり、又、非常に驚きました。麻痺患者の程度に合わせて、それでもかなり早い段階で歩行訓練をしているのを見ることができ、患者が家へと帰れるために大切なことなのだ実感できたのも良かったです。又、歩行訓練の段階や患者の程度に合わせて理屈のもと装具を調整し、歩行を行いやすくしていることも患者のことを真に考えての結果であると感動しました。自分は元々急性期に興味のある人間であり、今回の急性期リハの見学は非常に楽しみにしていました。特にICU、NCUの見学では、まだ意識レベルが低く、多くの外部管理がほどこされている患者に対し、リハ科医、PT、OT、ST等が連携してリハを行っている様子を見ることができ、その体制が整っていることに非常に感動を覚えました。また、そうした体制をまとめているリハ科医には、ジェネラリスト的な広い知識が必要であると感じ、様々な患者に太子それぞれに的確なリハを施すことのできるリハ科医に格好良さを感じました。又、リハの患者の社会復帰を支援する面から、ロボットや最新装具の開発等、工学系と協力しておこなっていく新技術も見学することができ、もちろんリハに必要な医療的なチームワークに加え、他分野を巻き込んだリハチーム像を感じれたことも非常に印象に残りました。脊髄損傷におけるお話はご自身の体験をふまえた本当に貴重なものでした。特に車椅子からの移動などは実際に障害をかかえる方々がどのように考え何が大変に感じているのか少しだけですが知ることができたと思います。このことは少しでも今後の糧として患者の目線で想像するよう努めていければと思います。また、嚥下内視鏡検査も自分は初体験でそういった技術の難しさと大切さを感じられたと思います。被検者側のつらさも知ったので、今後に生かしたいです。

これまでリハ科医というものの存在自体よく知っていなかったため、セミナーを通してその必要性を知ることができたのは一番の収穫でした。また、リハ科医の理念の一端に触れることもできたのは、今後どんな科に行くことになっても大切なことだと思うので良かったと思います。また、今回のセミナーを経て、多くの先生方のお話を聞くことができ、さらに皆さん本当に楽しそうに色々な話をしてらっしゃる様子を見ることができたのも貴重な経験でした。加えてこちらの質問に対しやさしく答えてくださり、さらに詳しく教えてくださったことにも感謝しております。本当に刺激的で楽しいセミナーでした。ありがとうございました。

●研修医

・4回目の参加だったにも係らず、柔軟に対応していただき、ありがとうございました。特に印象深かったのはICUでの早期離床、呼吸リハ実習、患者様宅への訪問でした。ICUの有り方は病院に戻っても活かしづらそうですが、呼吸リハについては、今後適応のある患者様にぜひ実践したいと思いました。患者様のお宅訪問では、C5以下の脊損の患者様にお会いしました。様々な苦勞と工夫、試行錯誤の結果での今の生活と笑顔がとても心に残りました。患者様を支える家族、PT・OTなどのスタッフの力を感しました。その中で医者ができることは何か、を考えさせられました。今回の訪問から、今後の見込み、できることと出来ないことをきちんと伝え、患者様にきちんと向き合うことが大切なのではないかと思いました。

貴講座でのセミナーは毎回新たな発見が多く、非常に勉強になります。特に初期研修医として働きはじめてから後のセミナーでは自分自身の疑問点、セミナーでの目標をもって参加させていただいております。今回も臨床現場に持ち帰る、小さな知識・体験を得られました。本当にありがとうございました。

・実際の訓練を体験すると、とてもわかりやすく面白く感じます。また患者さんとのふれあいはとても有意義だと思います。ポリクリのときとはまた違う視点でリハ科を見学することができ、とても良かったと感じています。とても親切に対応していただき感謝しています。ありがとうございました。

・患者さんを一緒に診させてもらい、内科診療をしっかりとやられているのを見て、リハにおける内科の重要性を再確認でき良かったです。患者宅見学では実際に見てみないとわからない様なことや何で困ったか？など貴重な体験談を聞け、今後活かされる話もあり、とても勉強になりました。ありがとうございました。

・リハ科医を中心としてスタッフの皆さんが“熱い、姿勢で働かれていること、良い意味で統率がとれていることが大変印象に残っています。回復期のリハ見学に加えて、ロボットなどの最先端のリハを見学・体験させてもらい本当にいい刺激になりました。リハ科医のしている仕事を基本的なことから説明していただき、新しい発見と知識の整理ができました。回復期リハの初期評価もさせていただいていたのですが、問診や診療などで抜けている部分がありましたので参考にさせていただき、今後に活かしたいと思います。なによりリハ科医の先生方のお話を聞いて勉強になりました。しっかりとした急性期のリハをされている病院はあまり見たことがなかったので大変勉強になりました。不動症候群にならないように早期離床が大切とは分かっていつつも具体的にどのようなことをされているかもすっかり見させてもらいました。リハ科医のドクターが熱いのはもちろん、療法士が質問に的確に答えられている姿は印象に残っています。脊髄損傷の講義は、実際に車椅子に乗って移乗やウィリーの動作をした際の車椅子の不安定さが分かってイメージがつかしました。

装具や排泄についてもあらたに知った事も多く、今後また違った視点を持って患者さんに接する事が出来ると思います。「臨床も研究も患者さんのために」ということを忘れず、今後の医師としての仕事に生かしていきたいと思います。お忙しい中、本当にありがとうございました。

●医師（3年目以降）

・何日間参加しようか迷いましたが3日間参加してよかったです。ICUでのリハが興味深かったです。呼吸リハは実際に体験することができ、患者さんの説明にも役立てそうです。運動学習についても面白く、部活動の後輩指導や、研修医への手技の指導にも使えそうだと思います。

リハ科医って何？というところから、実際の検査や手技に体験ができてとても充実した3日間でした。

・入門コースとして大変親しみやすいセミナーでした。呼吸リハについて療法士の意見を聞いてよかったです。先端技術と併行して、身近な簡易な応用もしていただけるとありがたいです。運動器の知識がすっかり抜け落ちているのでリフレッシュできました。現状、内科でみているのは主に廃用、呼吸器なので、今すぐ使えるものではありませんが、リハの根幹だと思います。勉強し直していきたいと思いました。

・全講座楽しく勉強になりました。片麻痺患者さんの診察では、短下肢装具の

角度調整を行いながら、歩行のメカニズムを解剖学的観点をふまえ勉強させていただき勉強になりました。高次脳機能障害の講義では、様々な検査を体験することができました。グループワークでは、リハ科医の仕事、評価や判断を疑似体験できることができ、今後の診療に役立つスキルや考え方を教えていただきました。検査、治療の体験では、論理だけでなく、自分の体として実感でき、人の体の仕組みについて考えさせられ、非常に楽しかったです。急性期リハ、呼吸リハ、嚥下では、普段の自身の診療での疑問、漫然と行っていた事へのアセスメントを伺う事ができ非常に勉強になりました。運動学習では、普段なんとなく患者さんに「うまくいきましたね」等かけている言葉が、どのように作用し効果をあげていくかについて考えさせられ、自分としては全く新しい観点でした。リハロボットの講義、体験を通して、未来のリハについて考えさせられました。車椅子、義足と体験が多く、普段患者さんが過ごされている日常について、少し思いを巡らせる事ができました。

多くの時間をさいいただき、本当にありがとうございました。今回学んだ知識・興味を元に、今後の学習にはげみたいと思います。